

**泉州労山 北川一代****精霊の森に感激！！**

井ノ口山への登山道は私有地ということで事前に山主さんの許可を得て登らせていただきました。登山道のロープや杭にも絶対に触らないで!!と会長から注意を受け急坂を登っていると突然、前がストップ。すると会長がいつもの必須アイテムを使い登山道を塞いでいる倒木を切っている様子。え〜？それはいいの？いいんだそうです。許可をもらったそうです。必須アイテム大活躍でした。登山開始前、会長は運転手さんに2時間で戻ってきますと言ってたけど登りに2時間かかっちゃいました。登山道から見える多くの台杉にスマホはポケットにしまう間がないほどでした。三角点を少し下ったところにある大杉はひと際大きく威厳さえ感じるほどでした。片波川源流域の巨木群では樹齢500～1000年の台杉は形も様々で一本一本にある奇跡の歴史に思いを馳せました。大杉の下に立つと圧倒されて「おお〜！」とか「すごい！」としか言葉が出てこない。この感覚は自分で体験しなければわからないと思いますので今回行けなかった方は来年是非とも参加してみてください。ただ、片波川源流域の巨木群（私の中では精霊の森）では時間が無く、駆け足で見て回った感があり、もっとゆっくりしていたかったです。いつまでも精霊たちに包まれていたいと思わせる素敵な場所でした。

**豊中労山 太田誠治****平安時代の巨木に感動！！**

天候に恵まれたなか巨大な伏条台杉群を間近で体験できる貴重な観察会でした。昨年近畿ブロックでの観察会での話を聞き、伏条台杉という言葉は初めて聞きました。杉の種類ではなく古い年月と人の手が加えられたことで存在している貴重な杉だと聞きぜひ行ってみたいと思っていました。

当日は台風21号による影響で途中の鞍馬山周辺の植林群の倒木風景には自然の猛威のすごさをまざまざとみせつけられましたが、今回の観察目的地の井ノ口山と片波川源流域の2カ所で見えた圧倒的な群生杉の存在感がすごかったです。想像していた以上に巨大で様々な方向に枝分かれしているので、いまにも動き出しそうな躍動感がありました。また単に巨大なだけではなく人によって伏条台杉というめずらしい形の杉となり、現在まで生き伸びている歴史を持ったすごい杉なのだと感激しました。

今回豊中労山は6名参加しました。感想として「芦生杉群を見ることができてよかった」、「平安の時代の巨木に出会え、現代に生きる私の手で触れることは不思議な感覚でした」と好評でした。すばらしい体験ができた観察会でした。ありがとうございます。